

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構

外国人児童生徒教育 推進ユニット



2024年7月7日

2024年度 オンライン研修
「多様性が活かせることばの教育」

研修A

「文化間移動をする高校生の日本語指導」

キャリアを開拓するための日本語指導
—職業的専門性に関連付けた日本語学習活動を例に—

小西円・武内博子・齋藤ひろみ

3 介護士を目指す場合（就職をめざす）

3-1 介護士の仕事とは



高齢や障害によって日常生活に支障がある人に、その人らしい生活を継続できるように支援をすること。

せんもんしょく
専門職

介護サービスを受ける利用者がどのような生活がしたいか、一人一人が個人として尊重されること（個人の尊厳）、また、利用者が自立した生活を支援する仕事である（自立支援）。

介護を受ける人（＝利用者）のできないことを代わりに全部するのではなく、利用者の意向に沿って、残存機能を活かした生活できるように支える仕事

3-2 職場におけるコミュニケーションの相手と場面

相手例	場面例
利用者	各介助場面での声かけ、雑談
利用者の家族	利用者についての電話連絡 来訪の際の対応
職員	利用者に関する申し送り・介護記録書き、 会議への参加 事故報告書等の作成
看護師・医師	利用者の体調等の報告や、指示を受ける

聞く/
話す

聞く/話す/
読む/書く

聞く/
話す

『介護の日本語』 p46,48

『介護の日本語』 p46,48

『介護の日本語』 p46,48

『介護の日本語』 p4

せいかつしゅうかんびょう

生活習慣病 Lifestyle disease

←ことば・意味
使い方（一緒に使う言葉）の確認

No.405

しょくせいかつ

ひと せいかつしゅうかんびょう

食生活がみだれている人は生活習慣病にかかりやすい。

せいかつしゅうかんびょう ひと

ストレスがげんいんで、生活習慣病になる人もいる。

※テキストに沿ったもの

↓ 聞いて、適切な漢字語彙を選ぶかのクイズ

・たなかさんは（ ）障害がある。

A 聴覚

B 味覚

C 視覚

D 意識

記録例をもとに、語彙を増やす、言い方を学ぶ。

(2) 昼食の時、山田さんがスープを飲みづらそうにしていた。食べているうちに、
体がいすの座面からずり落ちたのが原因のようだったので、介助して体を起こし
た。そこから、楽に食べていた。←

3-3 授業の展開例 - プログラムDとして

テーマ：介護士のキャリア

プロジェクト：介護で利用する自助具や介護時のコミュニケーションの仕方等に関する事前学習をした後、介護施設を訪問し従事者にインタビューを行い、その社会的な意義や従事者の感じるやりがいについて報告書を作成し、クラスメイトに配布する。

目標：介護の仕事は「個人の尊厳」「生活の自立」に基づいて、利用者の意向に沿って必要な支援を考え、行うものであること、そして、さまざまな立場の人とコミュニケーションをとりながらチームでケアにあたる仕事であることを知り、仕事についての理解を深める。

時間目安：5時間

ユニット（5時間）の計画（全体像）

時間	内容面の目標	タスク
1	1 介護における自立支援・個人の尊厳について理解する。	1) 食事介助で使用する食器や住宅の工夫について必要な理由、使用するメリット等を考える。 2) 介護に関する動画を見て、自立支援の考え方を理解する。
1	2 利用者と介護士の会話から介護士としてふさわしい対応の仕方や、介護時のコミュニケーションの仕方の基本を理解する。	1) 2つの会話（A・B）を比べ、どちらが介護士の対応として適切か、理由も含めて考える。 2) 介護士のコミュニケーションの3要素を読み、A・Bの会話にどのような要素が含まれているか考える。
1	3 利用者の状況に関する介護記録の読み取りや申し送り活動の経験を通して、チームとして適切なケアをするためにはメンバー間で利用者情報を共有することが重要であることを理解する。	0) 宿題として記録で使用される語彙リストの意味を調べてくる。 1) 記録を読み、書かれている内容について共有し、申し送りの時、共有した方が良い内容について、理由も含めて考える。 2) 申し送りを疑似的に行ってみる。
2	4 介護士へのインタビューを通して、やりがいや社会的役割等の点から、介護という職業についての理解を深める。	1) 介護士をゲストスピーカーとして招き、1日のスケジュールや、仕事内容、やりがいなどを聞いたり、質問をする。 2) インタビューを通じて理解した、ゲストのやりがいや、介護の仕事の社会的な役割について、報告書を書いて発表する。

ユニット（5時間）の計画 …言語面の目標

時間	内容面の目標	日本語の目標
1	1 介護における自立支援・個人の尊厳について理解する。	介護用食器や自助具、介護向けの設備の工夫に関する語彙と「自立支援」「個人の尊厳」という介護の理念を示す表現を知り、介護用補助具の必要性やメリットについて自分の考えを話すことができる。
1	2 利用者と介護士の会話から介護士としてふさわしい対応の仕方や、介護時のコミュニケーションの仕方の基本を理解する。	介護時のコミュニケーションに求められる3要素を表す「傾聴」「受容」「共感」という語を知り、示された会話例をこれらの視点から評価し話すことができる。また、介護場面での会話として、具体的な会話を行うことができる。
1	3 利用者の状況に関する介護記録の読み取りや申し送り活動の経験を通して、チームとして適切なケアをするためにはメンバー間で利用者情報を共有することが重要であることを理解する。	介護記録で用いる用語の意味を自力で調べ、用語・記録の内容を理解することができる。 記録から抽出した重要な内容を、「申し送り」として事実とそこから想定されるケアの内容を区別して口頭で伝えることができる。
2	4 介護士へのインタビューを通して、やりがいや社会的役割等の点から、介護という職業についての理解を深める。	これまで学んだ語彙や表現を利用して、介護士のゲストスピーカーに1日のスケジュール、ケアの内容、やりがいについて尋ねることができ、それを所定の様式を利用して報告書にまとめることができる。

3-4 授業の展開例①

-1時間目のタスク1について

目標1 介護における自立支援・個人の尊厳について理解する。

タスク1) 食事介助で使用する食器や住宅の工夫について必要な理由、使用するメリット等を考える。

活動流れ：

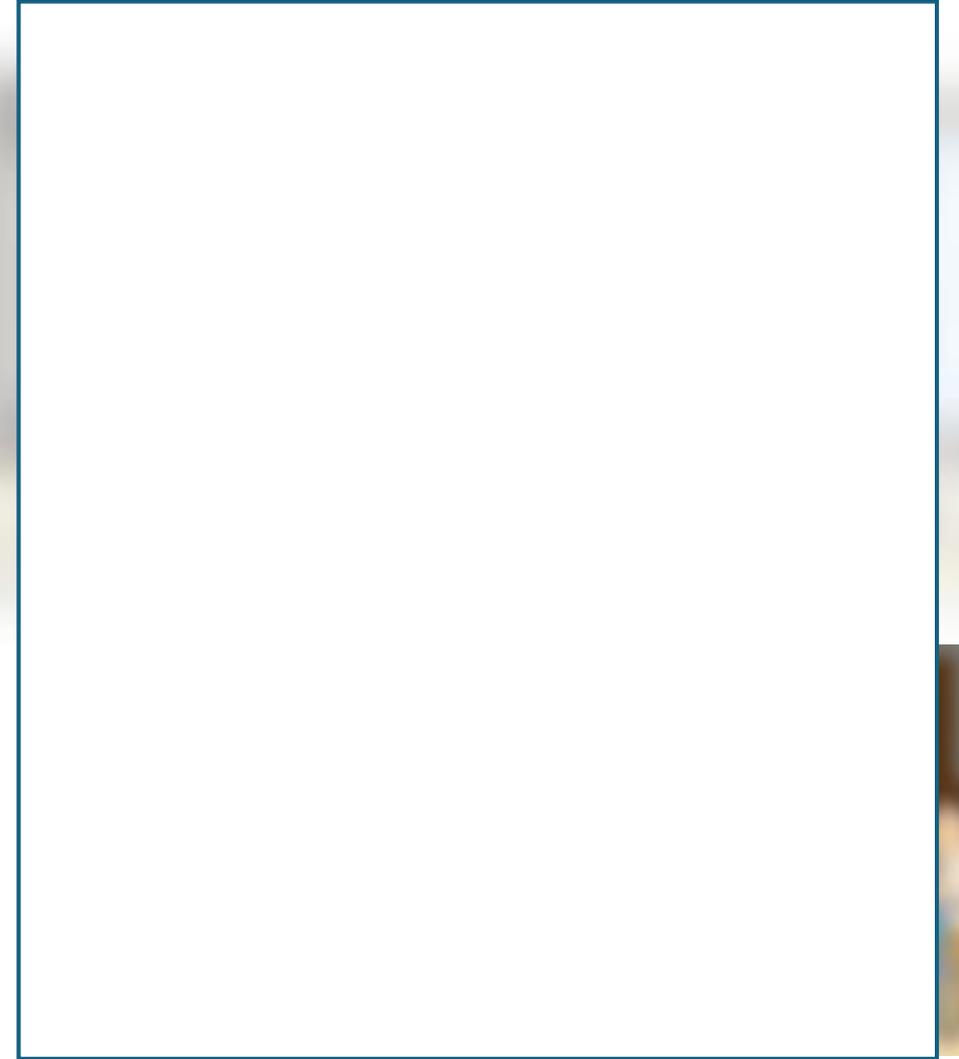
- ①食事介助で使用する食器を見て、生徒自身が使用するものとの違い、どのような人が使うかについて話し合う。
- ②食事介助用の食器の名称を知り、その使用のメリットについて話し合う。「～ので、～(する)時に安定します」等の表現で
- ③住宅の工夫の絵を見ながら、なぜ、その工夫が必要かを話し合う。「～になっているため、～がスムーズにできる」「～があると/ないと、～が不自由な人にとっては、～が困難だ」等の表現で

タスク1) で 利用する絵1



『介護の日本語』より

タスク 1) で利用する絵 2



3-4 授業の展開例② 2時間目の流れ

目標2 利用者と介護士の会話から介護士としてふさわしい対応の仕方や、介護時のコミュニケーションの仕方の基本を理解する。

タスク

- 1) 2つの会話（A・B）を比べ、どちらが介護士の対応として適切か、理由も含めて考える。
- 2) 介護士のコミュニケーションの3要素を読み、A・Bの会話にどのような要素が含まれているか考える。

生徒になったつもりで、
2時間目の活動を
体験してみてください。

会話A

『介護福祉スタッフのためのケア・コミュニケーション』 p70

加藤さんが、介護施設のリハビリルームに来ました。スタッフと話をしています。まず、聞いてください。よくわからないところは質問してくださいね。

『介護福祉スタッフのためのケア・コミュニケーション』 p70

会話B

『介護福祉スタッフのためのケア・コミュニケーション』 p71

加藤さんは、会話Aでも、会話Bでもリハビリをしないで帰ってしまいましたが、加藤さんは、これから、リハビリを続けるでしょうか？
会話A・B、どちらのコミュニケーションが良いと思いますか。なぜですか。

『介護福祉スタッフのためのケア・コミュニケーション』 p70

コミュニケーションで大切なポイント

「**傾聴**」…相手を理解しようという気持ち・態度で話を聞くこと。

「**受容**」…相手を否定しないで、そのまま受け入れること。

「**共感**」…相手の立場で、その気持ちを理解すること。

会話B

『介護福祉スタッフのためのケア・コミュニケーション』 p71

『介護福祉スタッフのためのケア・コミュニケーション』 p70

受容

介護士として加藤さんになんと言おうか、考えてみましょう。

- A. 加藤さん、リハビリはやっても意味がないということですか。
- B. 加藤さん、何か心配なことがありますか？
お話を聞かせてください。
- C. 加藤さん、今日はお会いできてよかったです。
リハビリはまた今度にしましょうか。

利用者への声掛けの基本

介護スタッフとして、利用者に、どのように声をかけるのがよいと思いますか。

- 1) ゆっくり、はっきりと相手に聞こえるように話かける。
- 2) 相手の名前を呼ぶ。
- 3) 相手の顔を見て、表情を確認しながら話す。
- 4) せかさない。

**非言語コミュニケーションも
大事な情報！**
うなずき、表情、
目線の位置、ア
イコンタクト、
声の大きさや
トーンなど

ワーク体験（うなづき・あいづち・非言語コミュニケーション）

- A
- うなづき
 - あいづち
 - 相手を見ない
 - 無表情

- B
- うなづき
 - あいづち
 - 相手を見る
 - 表情あり



3-4 授業の展開例③ -3時間目のワークシート

目標3 利用者の状況について、記録を読み、読み取った内容から、利用者のケアにあたるチームメンバーに共有しておくの良いものを申し送りをし、情報共有できる。(1時間)

タスク

- 0) 宿題として記録で使用される語彙リストの意味を調べてくる。
- 1) 記録を読み、書かれている内容について共有する。
- 2) 申し送りの時、共有した方が良い内容について、理由も含めて考える。
- 3) 2) の内容を申し送りする会話を作る。

記録例

黄色 ・ ・ 専門語彙（意味調べを宿題にしておく）

赤色 ・ ・ 記録で使用すると良い言い方

～に聞くと、～と言われた。

～とのことだった。

～と、～た。

月日	時間	事項
7/1	6:00	起床時に、顔を拭きに行った時、右の頬に傷があるのを発見した。本人に聞くと、ゆうべぶつけたと言われた。しかし、いつぶつけたかはわからないとのこと。看護師と施設長に報告した。
	7:30	食事 主食3/5 副食2/5 水分 お茶500ml 主食を6割、副食を4副食食べたところでおなかがいっぱいとのことだった。食後は体調の変化はなく過ごしている。
	8:30	バイタル 体温36.8℃ 血圧(高)108mmHg 血圧(低)71mmHg 脈拍69回/分
	9:00	右頬部の擦過傷のような傷ができていたことを長女さんに電話連絡をした。
	10:30	入浴○ 入浴へ行くのに、車椅子に移ってもらう。「佐藤さん、お風呂へ

申し送りの表現例

これから申し送りを始めます。

○号室の佐藤さんですが、食事の量が減ってきています。不調の訴えはありませんが、数日続いたら、看護師に報告するようにしてください。

また、右頬部の擦り傷については、ご家族に連絡してあります。

以上です。

	15:00	おやつ 5/5 「おいしいですか」と声をかけると、ニコニコしてプリンを食べていた。
	16:00	リハビリ○ 立ち上がり、立位保持（機能訓練） 手すり使用、動作誘導にて立ち上がり可。
	18:00	食事 主食2/5 副食3/5 水分 お茶600ml 食事は完食しなかったが、気分がわるかったり、不調の訴えはなかった。食事量の減少が、数日続いたり、異変が生じた場合は、看護師に報告する。
	19:00	臥床時、頬の痛みについて聞いたが、痛くないとのこと。
7/2	4:00	夜間良眠

3-4 授業の展開例④ インタビュー活動

目標4 介護士へのインタビューを通して、やりがいや社会的役割等の点から、介護という職業についての理解を深める。

日本語の目標：これまで学んだ語彙や表現を利用して、介護士のゲストスピーカーに1日のスケジュール、ケアの内容、やりがいについて尋ねることができ、それを所定の様式を利用して報告書にまとめることができる。

タスク

- 1) 介護士をゲストスピーカーとして招き、1日のスケジュールや、仕事内容、やりがいなどを聞いたり、質問をする。
- 2) インタビューを通じて理解した、ゲストのやりがいや、介護の仕事の社会的な役割について、報告書を書いて発表する。